

## 巻頭言



### 棒線特集の発刊にあたって

石井 博美\*

棒鋼、線材は、鉄本来の特徴である強度、靱性を活かした用途として自動車産業を中心に進展してきました。最終製品を例に挙げるとクランクシャフト、トランスミッション用歯車、弁ばね、懸架ばね、ベアリング、ボルト、タイヤコード等多岐に亘り、且つこれらの部品は人の命を守る“重要保安部品”でもあります。また昨今の燃費向上のニーズから高強度・軽量化の要求レベルは極めて高く、それに応えるべく特に熱処理、加工技術と組み合わせ、材料特性を飛躍的に向上させることを可能とし、製品強度的には4000 MPaを超えるレベルのものまであります。自動車をはじめとする日本企業がグローバル化していく過程で、お客様との強力な連携の下、各種高強度鋼、工程省略鋼、環境対応鋼等の提案をはじめ、高品質で高機能な特殊鋼棒鋼線材の提供を通じてこれらの動きに少しでも貢献できたのではと考えています。

更に2012年10月の新日鐵住金(株)発足により、商品メニュー及び開発技術の大幅な拡充が図られ、且つ複数製鉄所での製造が可能となり、国内外のマーケットにおける棒鋼線材需要とその高度化に迅速且つタイムリーに対応する体制が整いました。

本技報では、最新の棒線の新品目だけでなく周辺技術及び製造技術についても紹介させていただきます。棒線事業部門では、一昨年に事業ブランドSteelLinC®を立ち上げました。本ブランドは、鋼材設計・製造技術のみならずお客様の加工・熱処理工程をサポートする利用技術及びソリューション技術を組み合わせることにより“鋼材(当社)×工法(お客様)”の一貫工程で新たな付加価値を創造し、お客様の製品価値向上や生産性向上に貢献することを基本としています。

本技報を通じて、普段目にされている自動車・建機分野、建築・土木分野に至る特殊鋼棒鋼線材製品、その製造技術及び利用・ソリューション技術への取り組みをご理解いただき、少しでも皆様のお役に立てれば幸いです。これからも皆様のご期待に沿えるよう、商品力、技術力を高めていく所存ですので、より一層のご支援とご指導を宜しくお願い致します。

\* 執行役員 棒線事業部 棒線技術部長